



平成 30 年 7 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社プロパスト
代表者名 代表取締役社長 津江 真行
(コード：3236、JASDAQ)
問合せ先 常務取締役管理本部長
兼経営企画部長 矢野 義晃
(TEL. 03-6685-3100)

平成 30 年 5 月期 通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

平成 29 年 7 月 10 日付「平成 29 年 5 月期 決算短信」において公表いたしました、平成 30 年 5 月期の通期業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 5 月期 通期業績予想と実績値との差異 業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,500	864	601	521	18.44
今回の実績値 (B)	16,905	1,142	671	722	25.58
増減額 (B-A)	1,405	277	69	200	—
増減率	9.1%	32.1%	11.6%	38.5%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 5 月期)	14,874	1,162	801	511	18.08

2. 差異の発生した理由

平成 30 年 5 月期の通期業績予想における売上高については、前回予想値を 1,405 百万円上回る 16,905 百万円となりました。主な要因としては、分譲開発事業が一部のプロジェクトの販売進捗の遅れにより、当初計画を 709 百万円下回る 5,057 百万円で着地したものの、パ

リユース事業の各プロジェクトの売却が当初想定していたよりも前倒しで実施できたことにより、当初計画を2,015百万円上回る6,997百万円で着地したことが寄与しております。

営業利益については、前回予想値を277百万円上回る1,142百万円となりました。これは分譲開発事業の売上高が当初計画を下回ったことにより、同事業のセグメント利益が当初計画を149百万円下回る297百万円で着地したものの、バリューアップ事業における売上高の増加に伴い、同事業のセグメント利益が当初計画を216百万円上回る772百万円で着地したことに加えて、賃貸開発事業の収益率の向上により、同事業のセグメント利益が当初計画を243百万円上回る996百万円で着地したことが寄与しております。

経常利益については、前回予想値を69百万円上回る671百万円となりました。新規物件の取得に伴う借入金の増加により、営業外費用が当初計画を215百万円上回る478百万円となったものの、バリューアップ事業の増収効果や賃貸開発事業の収益率の向上等が上記のマイナス分を上回る形で寄与したことによるものであります。

当期純利益については、前回予想値を200百万円上回る722百万円となりました。バリューアップ事業の増収効果や賃貸開発事業の収益率の向上に加えて、固定資産の売却等に伴い、特別利益を114百万円計上したことが寄与しております。

以上